



関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	
教科書	
補助教材等	必要に応じて資料を配布する
学習上の留意点	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業への参加・取り組み姿勢(70%)と運動技術、スポーツテスト(30%)により評価する。</li> <li>2. 欠席、遅刻、見学は減点する。体操服を忘れたら見学扱いとする。</li> <li>3. クラスの男女比、施設、天候などにより授業内容が変更することもある。</li> <li>4. 健康管理に留意して授業に参加すること。</li> </ol>	
担当教員からのメッセージ	
一人ひとりが安全面に留意しながら、主体的に授業ができるように。また、上手くコミュニケーションがとれるように。	

授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	1. オリエンテーション	今年度の授業概要を把握し、到達目標を理解できる。	
2	2.スポーツテスト a)50m走 b)立ち幅跳び c)ハンドボール投げ d)持久走 e)握力 f)上体起こし g)長座体前屈 h)反復横跳び	自己の体力水準を把握することができる。	
3			
4			
5	3. 種目選択制 選択できる種目は下記の通りである。 ・サッカー(10名以上) ・ソフトボール(18名以上) ・バスケットボール(10名以上) ・バレーボール(8名以上) ・バドミントン(4名以上) ・テニス(4名以上) ・卓球(4名以上) 上記の種目を実施するには、種目ごとに設定している指定人数を満たすことが必要である(カッコ内の人数)。	(1)各グループごとに活動の準備段階から計画を立て、教員の支援を受けながら、練習、試合運営へと発展させることができる。  (2)グループの中での自分の役割を自覚でき、グループ活動に貢献することができる。  (3)活動中、自分の安全に留意して行動することができる。	
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
<b>前期末試験</b>			
15	3. 種目選択制		

授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	3. 種目選択制 4年生の授業では、種目選択制を導入する。選択できる種目は下記の通りである。	(1)各グループごとに活動の準備段階から計画を立て、教員の支援を受けながら、練習、試合運営へと発展させることができる。	
17	・サッカー(10名以上) ・ソフトボール(18名以上) ・バスケットボール(10名以上) ・バレーボール(8名以上)	(2)グループの中での自分の役割を自覚でき、グループ活動に貢献することができる。	
18	・バドミントン(4名以上) ・テニス(4名以上) ・卓球(4名以上)	(3)活動中、自分の安全に留意して行動することができる。	
19	上記の種目を実施するには、種目ごとに設定人数を満たすことが必要(カッコ内の人数)。		
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
<b>学年末試験</b>			
30	3. 種目選択制		
<b>総授業時間数</b>			60 時間